

第2回 平成22年7月梅雨前線豪雨内水対策検討会 議事要旨

日時

平成22年10月15日（金）10:00～12:00

場所

太田川河川事務所3階会議室

出席者

広島県土木局土木整備部 泉谷河川課長
広島県西部建設事務所 吉原次長
広島市道路交通局 菅原河川課長
広島市下水道局 計画調整課 山口計画担当課長
広島市消防局危機管理部 斉藤防災課長
太田川河川事務所 阿部事務所長

議事

- (1) 平成22年7月梅雨前線豪雨による流出状況について
- (2) 当面の対応について
- (3) その他

議事要旨

<平成22年7月梅雨前線豪雨による流出状況について>

- ・ 矢口川及び新安川における7月梅雨前線豪雨の流出状況について太田川河川事務所及び広島県が説明。
- ・ 実績と概ね整合がみられたことから、この流出量を算出した計算モデルをもとに今後対応策を検討していくこととする。

<当面の対応について>

- ・ 矢口川及び新安川における当面の対応について、太田川河川事務所、広島県及び広島市が発表
- ・ 国・県・市で連携し、各機関で当面行う対応を円滑に進めていくこととする。

<その他>

- ・ 年内を目途に中・長期的な対策の方向性をとりまとめることを確認。
- ・ 第3回の検討会を11月に行う予定とし、各機関において具体的な対策メニュー（案）について提示し議論することとする。
- ・ 第4回の検討会を12月に行う予定とし具体的なまとめを行うこととする。
- ・ その他、詳細についてはワーキンググループで議論することとする。